

がん看護セミナー

チームで支える在宅療養～急性期病院から地域につなぐ～

がん看護における急性期病院と地域の連携に必要な情報や知識を学びます。急性期病院から在宅へ移行し自宅で看取られた事例について各部署での取り組みと、宇部市役所から行政での支援について講義を行っていただきます。急性期病院でできる在宅移行支援を参加者全員で考えたいと思います。

多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成 26 年 7 月 18 日（金） 17：30～19：00

場所：山口大学医学部 第 3 講義室

総合司会：山口大学医学部附属病院 診療連携室
看護師長 結城 美重

事例提示・講義 17：30～18：30

「子宮頸がん患者の在宅緩和ケア移行に向けた病棟の取り組み」

山口大学医学部附属病院 1 病棟 4 階西
佐伯 礼子

「がん患者の在宅療養支援の取り組み」

山口大学医学部附属病院 診療連携室
大野 陽子

「在宅療養を実現するための心と体のサポートチームの取り組み」

山口大学医学部附属病院 心と体のサポートチーム
松元 満智子先生

「宇部市のがん患者にやさしいまちづくりについて」

宇部市健康福祉部高齢者総合支援課 主幹（保健師）
斎藤 美矢子先生

全体意見交換 18：30～19：00

主催：山口大学医学部附属病院 看護部

共催：山口大学医学部附属病院 腫瘍センター

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム